

J C N E W S

JCI NAGASAKI's MAGAZINE

2023 WINTER

VOL.783



TABLE OF CONTENTS

Vol.783
2023 WINTER



挨拶

理事長挨拶 03

特集

2023年度 卒業予定者
インタビュー 04

事業紹介

11月経済室担当例会 14

フォローアップセミナー 15

2023年度同期会 18

Culture of Nagasaki

事業概要 19

クラウドファンディング 20

事業当日 21

2023 JCI 世界会議 22

中国人墓地清掃 23

2023年度ファイナル・

2024年度予定者フォーラ 24

ム及び地区ナイト

巻末

アンケート 30



2023年度理事長

山口知宏 挨拶

日頃より長崎青年会議所の活動・運動へご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

11月25日におきましては「Culture of Nagasaki～みんなで文化を体験しよう～」を開催することができました。本年は4年ぶりとなる長崎くんちが開催されましたが、コロナ禍を経て長崎の文化が軒並みリスタートを切りました。長崎の文化に本気で打ち込んでいる人、本気で応援している人達こそが、長崎の大きな原動力になると私達は信じています。

更なる後押しを行い、長崎の文化活性化に貢献すべく長崎青年会議所の新たな取り組みとしてクラウドファンディングを用いた資金集めを行い、これを財源として事業を構築することができました。応援いただきました皆様、誠にありがとうございます。本事業をもって2023年度の長崎青年会議所の対外事業が全て終了しました。コロナ禍を経てもなお、力戦奮闘のスローガンのもと、明るい豊かな社会の実現に向けて仲間達とともに前進できたことは私の誇りであり、一生の財産です。1年間本当にありがとうございました。



年末号 大特集

お殿・お姫インタビュー



お殿・お姫とは？

長崎青年会議所では、40歳で卒業を迎える会員の事を『お殿』『お姫』と呼びする特有の文化があります。



お殿・お姫インタビュー



山口 泰



Q. 印象に残っている事業は？

ながさきみなと
まつり2016

まちづくり事業がしたくてJCI長崎に入会し、2016年初めて地域推進委員会へ配属致しました。当日は海のターザン、竹水鉄砲の事業が行われ、当日まで手探りで一つ一つ準備してきた時間が印象的です。又、当日軽めの熱中症になりながらも、がむしゃらにお手伝いさせていただき、参加者の笑顔を見ることができてとても良い思い出です。



2015年入会時のお殿



浦 勝喜



Q. 印象に残っている事業は？

手作りランタンコーナー

当時まだ、入会したての頃行った事業でした。連日深夜まで作業をして休日返上したのを今でもはっきりと覚えています。事業当日は沢山の市民の方や他県からお越しの方と触れ合える事ができた、とても良い事業だったと思います。



2015年入会時のお殿





お殿・お姫インタビュー



福田 智徳 お殿



Q. 印象に残っている事業は？

長崎コンファレンス記念事業
宝探しアドベンチャー inNagasaki

入会年度の事業ということもあり、非常に思い出深い事業です。準備にたくさんの時間を要しましたが、その時間を共有しながらみんなで頑張って、かけがえのない絆が生まれました。私の現在までの活動、運動の全ての礎となりました。



2021年入会時のお殿





萩岡 幸洋



Q. 印象に残っている事業は？

**2022年度
戦略事務局長 時代**

JCI長崎が70周年を迎えた2022年度に、松島理事長のもとで戦略事務局長を務めさせていただいた1年がとても濃ゆく忘れることのできない最高の1年でした。

「松島理事長」「高田専務理事」は同級生であり、彼らの側で今まで経験したことのない日々を経験させていただきました。この2人との1年間は我が人生にとってかけがえのないものとなりました。



2016年入会時のお殿





森下 兼輔



Q. 印象に残っている事業は？

**新入会員親睦会
～ボッチャで心を近づけよう～**

2021年度の拡大広報委員長をしていた時の最後の事業でした。この年は8月ギリギリまで新入会員の面接をしていたので、例年のフォローアップができない代わりに新入会員同士、新入会員と正会員の交流を目的として行いました。新入会員も頑張ってくれて事業の準備や正会員との交流ができたので良かったというのと、次年度と重なった時期で、奥さんも3人目の悪阻でJC生活史上最強にヤバかった時だったので特に印象に残ってます。



2018年入会時のお殿





南原 淳一



Q. 印象に残っている事業は？

**公園清掃事業
(長崎ブロック建設クラブ)**

長崎ブロック建設クラブ代表をやらせていただいていた2022年、LOMの副理事長にJCI長崎として予算を出せないで建設部会の事業と新入会員事業をしてもらえないかと話があり、常任会議で承認して実施致しましたが、会員も自治会の方々も多数参加してくださり、関わった全員が笑顔になる素晴らしい事業になりました。



2017年入会時のお殿





高田 昇裕



Q. 印象に残っている事業は？

東北復興支援祭 ～長崎からできること～

27歳で入会した翌年2011年の特別全体事業。未曾有の被害をもたらした大震災からの復興へ向け、右も左も分からないまま当時の先輩方の背中を見ながら全力で取り組みました。生産・出荷可能な東北の物資を直接連絡し仕入れて長崎で販売、その売上や募金はそのまま現地へ寄付。直接的物的支援だけでなく、長崎市民の復興への意識を風化させないためとの想いのこもった壮大なスケールの事業に触れ、感動して、この団体の活動に何の迷いもなくなりました。



2010年入会時のお殿



野田 剛士 お殿



Q. 印象に残っている事業は？

第15回わんぱく相撲
長崎場所

自分がまだ仮入会員の2012年。わんぱく相撲大会。県大会で優勝したら両国国技館で全国大会という、相撲を志す子ども達からすれば夢のような事業。当時、JCI長崎でも現役の力士を講師に招いて開催していました。土俵の上で、小学生の子どもが5、6人でいっせいに飛びかかってもびくともしない力士に目を輝かせる子ども達。JCにハマるきっかけの一つとなった事業でした。



2012年入会時のお殿





中村伸一郎お殿

Q. 印象に残っている事業は？

2022年度拡大事業全て

予定者段階で予定した全ての事業を完璧に実施できた集大成の年でした。全ては泉室長と石橋委員長と拡大メンバーと予定者段階時点で打ち解けたことが決まり手でした。

全ては準備から。唯一苦労したのは飲み会の翌日の朝起きることだけでした（笑）



2015年入会時のお殿



松島 雄大



Q. 印象に残っている事業は？

SANTA RUN IN NAGASAKI 2019

自分が委員長の時に行なった事業でJCI長崎初の協賛を募り、事業費500万規模の事業となりました。毎日毎日、協賛のお願いで企業回りをしたり、「明日、伺って良いですか？」と言って、カジサック氏へ出演オファーを兼ねたプレゼンをするために、東京の吉本興業本社へ突撃したりと、毎日のように朝から晩までJC活動に追われ、心身共にクタクタでしたが、事業当日の朝、中央公園に1000人以上のサンタの服装をした一般参加者の楽しそうな姿を見れたときの感動はいまだに忘れられません。



2017年入会時のお殿



11月経済室担当例会 JCI長崎イノベーションの夜明け

2023.11.7
ホテルニュー長崎 鳳凰閣

事業報告

イノベーション推進委員会では、「JCI長崎イノベーションの夜明け」と題して、担当例会を実施致しました。委員会による1年間に及ぶ事業の振り返りを行うと共に、実践的セミナーにおける審査会の上位3チームに事業計画の発表を行っていただきました。本来例会を時間内に終わらせる事に尽力すべき会務委員長が大幅に発表時間を超過し、こちらに時間短縮を要求したにも関わらず、自分たちは一切例会の短縮を試みなかった事には憤りを感じておりますが、1年間の事業を通して、会員の意識・知識の醸成、成果の共有、関係機関とのアライアンスの構築を実施できた1年間になったと自画自賛しております。1年間共に歩んできてくれた委員会メンバーに感謝です！！イノベがNo.1です！！



イノベーション推進委員会
委員長 寺澤孝憲 君



新入会員フォローアップ
セミナー
長崎の未来のために
～次世代を担う声～

2023.11.11
勤労福祉会館

事業概要

長崎青年会議所の新入会員が主体となって事業の構築・実施を行い、同期としての絆や一体感を高め、今後のJCI長崎の核となる人材となることを目的とした事業です。長崎では人口流出、特に若い世代の流出が問題となっている現状を踏まえて、今年度は「雇用」に焦点を当て、実際にアンケートを集めるなどの調査を行い、その結果を分析し発表します。



大学生へのアンケート調査など 3か月間に及ぶ 準備期間がありました



事業報告

「長崎の未来のために～次世代を担う声～」と題しまして、長崎の雇用の問題に焦点を当てたフォローアップセミナーを開催致しました。準備を通して、JCI長崎で行われる様々な事業が非常に大変なプロセスを経て作られているのだと知り、ひとつひとつの事業にしっかり向き合っていこうと思うようになりました。事業準備から当日まで新入会員全員がしっかり準備した成果を存分に発揮し、手前味噌ではありますが、素晴らしい事業になったと思います。



フォローアップ
実行委員長 野口 将司 君



事業報告

皆様、お疲れ様です！
議案作成は苦戦もありましたが、皆様にご協力いただき、事業をカタチにすることができました。最後までやり通し、本当にやって良かったと心の底から言えます。
新入会員もこの事業を成功体験と捉え、プライベートや仕事に活かしていただきたいと思います。フォローアップセミナーにご参加いただきました正会員の皆様、新入会員および私を含む拡大委員会を支えていただきまして誠にありがとうございました。



拡大委員会
委員長 濱崎 賢司朗 君

2023.11.11 矢太樓

2023年度新入会員 同期会会長挨拶



事業報告

今回2023年度の同期会名は「七一路会（なないろかい）」とさせていただきます。今回のフォローアップを通して新入会員の絆が深まったことを実感しております。フォローアップに参加した全員が互いを思いやり、それぞれに出来ることに全力で取り組みました。その中で築き上げた絆は一生の宝になると思います。これから71年度メンバーそれぞれの路を歩んで行く中でたまに集まり、寄り添い合える会になるようにしていきたいと思ひます。



2023年度同期会
会長 平田 太郎 君

Culture of Nagasaki

～みんなで文化を体験しよう～



事業概要

新型コロナウイルスの影響により、約3年間あらゆる「文化・事業・行事」の中止が相次ぎ、市民・子供たちが文化を肌で感じる機会が激減しました。人口減少なども進む中、次世代を担う子供たちに、改めて長崎の魅力ある文化を知ってほしい！体験してほしい！と思い、さまざまな長崎の文化を一堂に会し、体験出来るイベントを開催しました。

イベント当日は、ペロン、ハタ揚げ、ランタン、など長崎を代表する文化を多くの子供たちが体験出来るブースを運営しました。



Culture of Nagasaki
～みんなで文化を
体験しよう～

クラウドファンディング

2023.9.16～10.31

事業報告

私たちまちづくり委員会は、1年を通して長崎の文化再建・継承に力を注ぎ、その中で新しい手法「クラウドファンディング」を取り入れた事業構築を考え「Culture of Nagasaki～みんなで文化を体験しよう～」を行いました。サイトがオープンした際はなかなか支援金も増えずに頭を悩ませた時期もありましたが、山口理事長をはじめ多くの正会員の方にご協力いただき当初の260万目標をはるかに超え324万で終了することができました。皆さんのおかげで目標達成することができましたご協力、お力添え本当にありがとうございました。今後も新たなチャレンジを行いながら、JC活動・運動に邁進しより良い長崎を目指すとともに、自己成長に繋げて参りたいと思います。本当にありがとうございました。

子どもたちに長崎の文化を体験して欲しい!



支援総額
¥3,242,000

目標金額 ¥2,600,000

124.69%

支援者数

285人

残り

0日



まちづくり委員会
委員長 小川 清貴 君



Culture of Nagasaki ～みんなで文化を 体験しよう～

本番開催

2023.11.25
稲佐山公園



事業報告

去る11月25日(土)、稲佐山公園野外ステージにて、爽やかな秋晴れの中、今年度最後の対外事業「Culture of Nagasaki～みんなで文化を体験しよう～」を開催しました。当日は目標の倍の来場もあり、多くの子供達の笑顔と歓声溢れる事業となり、大盛況にて幕を下ろす事が出来ました。当日動員を頂いた正会員各位を始め、事業に関連した全ての関係者様へ委員会一同より深く御礼申し上げます。



まちづくり委員会
委員 北島秀基 君



2023 JCI 世界会議 チューリッヒ大会

2023.11.14~11.18
スイス チューリッヒ



事業概要

JCI(国際青年会議所)は恒久的な世界平和の実現に向けて全世界で運動を展開しています。スイスのチューリッヒでは「Challenge the present and create the future(現在の挑戦が未来を創造する)」をテーマに掲げ、世界中から約3,500名のJCIメンバーが集まりました。

事業報告

去る11月14日(火)~11月18日(土)、2023年度JCI世界会議チューリッヒ大会が開催され、長崎青年会議所からは理事長山口知宏君と広報委員会中山笑里君の2名が参加しました。

中山笑里君が出向している日本青年会議所グローバルピース委員会の事業としてグローバルピースサミットが開催されました🌻



日本青年会議所 国際グループ
グローバルピース委員会
委員 中山笑里 君



第50回中国人 墓地清掃

2023.11.03
稲佐悟真寺国際墓地

事業概要

長崎は古くから中日友好交流の重要な窓口であり、何百年もの間、中国人が次から次へと海を越えて長崎に来航し、中日貿易と文化交流を行い、両国民の相互理解と友好を促進し、長崎の経済、社会、文化の発展に貢献されてきました。長崎県日中親善協議会主催の元、昭和49年から行われています。

事業報告

去る11月3日(木)文化の日、稲佐悟真寺国際墓地にて「第50回中国人墓地清掃」に参加致しました。ペーロンや龍踊、ランタンと深い繋がりがある中国の由緒ある石畳や墓石の中で清掃活動を行い当日は汗まみれになりながら必死にがんばりました！数多くの団体や一般の方と交流もでき良い経験ができました。今後もこのような活動があれば参加していきたいと思えます！



まちづくり委員会
委員 川瀬彰 君



九州地区協議会 2023年度ファイナル 2024年度 予定者フォーラム 及び地区ナイト

2023.11.27
ザ・ニューホテル熊本



事業報告

去る11月27日(月)、公益社団法人日本青年会議所の九州地区協議会による2023年度ファイナル・2024年度予定者フォーラム及び地区ナイトが、熊本のザ・ニューホテルで開催されました。このフォーラムでは、九州各地の青年会議所会員が集まり、今年度の九州地区協議会の報告と次年度の九州地区協議会の方針が発表されました。JCI長崎からは36名が参加し、一年の締めくくりと新たなスタートを同時に体感する重要な機会となりました。閉会后には懇親会が盛大に行われ、九州の他の会員と交流し、青年会議所やビジネスに関する話題で刺激を受けました。



2024年度
常務理事予定者 立川元規 君

一般市民向け アンケート



JCI長崎 正会員向け アンケート

